

きぼうへのすざろく

防災だより

このコーナーは東浦防災ネットが担当しています。

■問い合わせ

- ・東浦防災ネット【なないろ（総合ボランティアセンター）内】
☎ 5 1 - 7 6 9 7
- ・防災交通課 内線 2 3 5

「大地震が起きたら、何をしても無駄」と思っていないですか？



しっかり備えれば家族の命を守ったり、被害を軽減したりすることは可能です。できることから少しずつ防災対策を始めましょう。

今回は身近な物での防災対策として、使い方を変えるだけで防災グッズになるものを紹介します。

●大きめのハンカチ

マスク代わりや応急手当での包帯代わりにもなります。厚手のストールは着替えにも使えるうえ、防寒対策としてマフラーなどにすることもできます。

●生理用ナプキン

生理用ナプキンは、個別包装され衛生が保たれているため、災害時にケガで出

血した際、傷口に当てて止血することが出来ます。

●新聞紙

骨折の応急手当てや食器が必要になった際の紙食器の材料として活用できます。また、直接体に巻き付けると防寒対策にもなります。

●ポリ袋

応急手当てをする際、直接血に触れないよう手の保護に使ったり、水道が止まった際に新聞紙の紙食器にかぶせて調理に活用できたりします。大きめのポリ袋であれば、汚れたバケツなどにかぶせてきれいな水を運ぶことができます。また、雨をしのぐポンチョ代わりにもなります。

地震を『いつか』ではなく、『いつ』起こり得るものとして考え、防災対策を日常に取り込んでいくことが重要です。

災害に時なし、場所なし、予告なし！

「楽しく」「無理なく」「少しずつ」防災対策を継続する工夫をしましょう。

ご近所 地震防災訓練

大きな災害が発生した場合、消防や行政の救援活動（公助）には限界があります。そこで大切なのは、「自助」「共助」「近助」です。助けられるのは、近くに居る人だけです。

半田消防署東浦支署では、住民の方を対象に「ご近所地震防災訓練」を行っています。

これは、町主催や地区主催の防災訓練のような大規模なものではなく、地震発生直後に「ご近所同士で助け合うための訓練で、5〜10名程度の方を対象としています。

応急手当や家具の転倒防止など様々なメニューがありますので、お気軽にご相談ください。

●問い合わせ

半田消防署 東浦支署
☎ (83) 0119

熱中症予防と対策を！

例年、多くの方が熱中症で救急搬送されています。これからさらに暑くなりますので、熱中症を知り、予防し、楽しい夏を過ごしましょう。

知多中部広域事務組合ホームページに熱中症の症状や予防法、応急処置法について掲載していますので、ぜひご覧ください。

●問い合わせ

半田消防署 東浦支署 ☎ 83-0119

☎ <http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>



熱中症の応急手当

脇の下や太ももの付け根など、大きな血管が通っている場所を冷やしましょう。